

平成 29 年度 事業報告書

1 事業概要

(1) 食育の推進を支援する事業（定款第4条第1号）

学校等で実施される食育推進事業を支援するため、次の事業を実施した。

① 各種研究大会・講習会等の実施

食育指導の中心的な役割を担う栄養教諭・学校栄養職員及び子どもたち等を対象に、第60回北海道学校給食研究大会をはじめ、食育に係る講習会等の事業を北海道教育委員会及び北海道学校給食研究協議会等と連携し実施・後援した。

○ 研究大会・講習会等の事業実施及び後援

事業名	開催年月日	開催地等	開催区分	備考
第60回北海道学校給食研究大会	8月8日	石狩市	主催 (実行委員会)	主催(実行委員会):北海道教育委員会、石狩市教育委員会、北海道学校給食研究協議会
子ども給食教室	8月4日	中札内村	主催	共催:北海道教育委員会 後援:中札内村教育委員会、北海道学校給食研究協議会
第49回北海道高等学校給食研究協議会 北海道大会	8月4日	札幌市	後援	主催:北海道高等学校給食研究協議会
第40回学校給食展	10月21日	札幌市	後援	主催:札幌市学校給食栄養士会
食育推進研究協議会	11月16日	旭川市	共催	主催:北海道教育委員会
北海道学校給食調理コンクール	1月12日	札幌市(当会)	共催	主催:北海道教育委員会

② 研究団体等への助成

学校給食に関わる研究団体等に対し、学校給食の充実及び食育を推進するための経費を助成した。

〈助成先等〉

- ア 北海道学校給食研究協議会
- イ 北海道学校給食研究協議会栄養部会
- ウ 北海道学校給食研究協議会学校部会
- エ 北海道学校給食研究協議会共同調理場部会
- オ 札幌市学校給食栄養士会
- カ 北海道高等学校給食研究協議会
- キ 北海道特別支援学校栄養教諭研究協議会
- ク フードリサイクル実施学校への米糠の提供（小中学校 115 校／15kg×561 袋）

③ 施設・設備の貸出し

ア 研修室・調理室等の貸出し

学校給食関係団体からの要望に応じ、研修室等を無料で貸出した。

〈貸出実績〉

研修室 2 団体 5 日間

イ 「北海道学校給食献立システム」の貸出し

給食用食材や給食メニューのデータ及びアレルギー物資に関するデータ等を管理・活用して献立を作成するためのシステムを、本年度新規の3箇所を加え、59箇所の学校及び共同調理場に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校3校 共同調理場55施設 国立大学法人附属学校1校

ウ レプリカの貸出し

文部科学省委託事業で作成した「鮭」「さんま」及び「昆布」の実物大レプリカを食育の授業に役立ててもらうため、学校及び共同調理場等21箇所に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校11校 中学校0校 特別支援学校2校 共同調理場6施設
児童福祉関係等2団体

エ バイキング用食器の貸出し

学校給食が多様化する中、楽しく潤いのある食事環境づくりを支援するため、バイキング用食器(皿、鉢、プレート等)17種類について、学校及び共同調理場175箇所に延べ4,107枚を無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校141校 中学校20校 特別支援学校2校 共同調理場12施設

オ DVD等の貸出し

学校給食従事者の衛生管理等研修及び児童生徒の食育指導用として、DVD等10枚を学校及び共同調理場等7箇所に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校1校 中学校2校 特別支援学校0校 共同調理場等4施設

④ 情報提供

学校給食に係る広報紙の発行及びホームページの運営

広報誌(北海道学校給食研究協議会と共同発行)及びホームページにより、学校給食レシピの紹介や各種研究会・研修会等、広く学校給食や食育に関わる情報提供を行った。

○ 広報紙「いただきます」発行実績

号数	発行年月日	発行部数	主な配布先
第201号	平成29年5月26日	各号3,000部	北海道教育委員会
第202号	平成29年9月29日		各市町村教育委員会
第203号	平成29年11月15日		各学校給食実施校
第204号	平成30年3月12日		各学校給食センター
			日本スポーツ振興センター
			全国学校給食会連合会
			各都府県学校給食会
			北海道パン・米飯協同組合
			札幌アール・ビー・エム協同組合
			札幌市学校給食麵協同組合

(2) 安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する事業（定款第4条第2号）

常に良質で安全なものを安定的に供給するとともに、保護者の給食費負担に影響を及ぼさないよう価格の安定を図る観点から、次の事業に取り組んだ。

① 学校給食用物資の安定供給

ア 物資の安定供給（必要量・品質確保）

a 主食となる給食米については、ホクレンとの年間契約により、また、パン等の主原材料となる小麦粉は関係製粉会社との年間契約等により、それぞれ必要量を確保した。

b 給食米については、すべて道産米を使用し、地元産を希望する市町村については、それぞれの要望に応え安定的に供給した。

また、パンについても、地産地消の観点に立って、北海道産小麦粉100%を使用したパンを安定的に供給した。

一般物資の供給については、道内産、国内産を主原料とした物資の開発・選定を行い、安全で良質な物資の供給拡大を図るとともに、配送協力店の協力を得ながら、物資を安定的に供給した。

○ 学校給食米の供給状況

区 分		平成28年度	平成29年度	前年度対比
米飯給食実施供給市町村数		129	130	100.8%
米飯給食実施未供給市町村数		39	40	102.6%
米飯給食実施供給学校数		1,526 校	1,543 校	101.1%
米飯給食実施供給児童生徒数等		385,316 人	377,829 人	98.1%
米の使用量	全 道	3,669,338 kg	3,610,891 kg	98.4%
	一人当	9.5 kg	9.6 kg	101.1%
週平均米飯実施回数		3.1 回	3.1 回	100.0%

○ 学校給食用パンの種類別供給状況

（単位：個）

品 名	平成28年度	平成29年度	前年度対比
基準パン等	10,892,783	10,306,176	94.6%
バターパン	2,017,369	1,935,160	95.9%
黒砂糖パン	1,458,832	1,476,310	101.2%
かぼちゃパン	283,334	211,334	74.6%
クルミパン	5,505	4,601	83.6%
ミルクパン	440,898	390,649	88.6%
ごまパン	55,038	47,530	86.4%
ココアパン	317,343	307,873	97.0%
ソフトフランス	965,590	983,483	101.9%
合 計	16,436,692	15,663,116	95.3%

（注）基準パン等：札幌規格（レーズンパン、豆パン）旭川規格（米粉パン、米粉あんパン）を含む。

バターパン：旭川規格（米粉バターパン）を含む。

- c 当会の附属機関である「物資開発委員会」において、北海道産原料及び国内産原料を使用した商品や、アレルギー対応商品を中心に、新たに25品目の物資選定を行った。

なお、今年度は、北海道産原料を使用した新商品開発には至らなかった。

○ 物資開発委員会委員

区 分	地 区	氏 名	所 属
委 員 長	札幌市	清 水 祐 子	札幌市立前田北小学校 栄養教諭
副 委 員 長	石狩	鈴 木 里 絵 子	北広島市立東部小学校 栄養教諭
委 員	後志	大 西 早 紀	泊村立泊中学校 栄養教諭
委 員	空知	武 藤 恵	栗山町立栗山小学校 栄養教諭
委 員	胆振・日高	田 淵 い ず み	浦河町立荻伏小学校 栄養教諭
委 員	渡島・桧山	岸 部 理 津 子	北斗市立大野小学校 栄養教諭
委 員	上川・留萌・宗谷	石 井 佑 実	幌延町立幌延小学校 栄養教諭
委 員	オホーツク・十勝	檜 山 巴	紋別市教育委員会学校給食センター 栄養教諭
委 員	釧路・根室	柳 澤 要 予	羅臼町立羅臼小学校 栄養教諭

○ 一般物資取り扱い実績

区 分	平成28年度	平成29年度	前年度対比
一般物資総額 (A)	1,325,241千円	1,341,193千円	101.2%
開 発 物 資 (B) <small>*(A)の内数</small>	34品目 127,084千円	28品目 155,914千円	122.7%
開発物資の割合 (B) / (A)	9.6%	11.6%	

イ 物資の価格安定

- a 年間需要計画をもとに一括大量購入するスケールメリットを生かした物資を確保することにより、低廉な価格での物資の供給に努めた。また、教育の機会均等を図る観点から、精米・小麦粉・脱脂粉乳・一般物資については、離島を含め全道すべて同一価格で提供した。
- b 市町村の給食に関わる予算を考慮し、全ての取り扱い物資について年度当初又は学期前に価格を公表し、市町村が各月の給食費の額を一定とすることができるよう努めた。
- c 給食に要する経費のための支援として、米穀1kg当たり3.26円の値引き助成措置を行った。平成29年度の助成総額は年間約11,771千円となった。

○ 米穀・小麦粉等の供給数量・金額

区 分	単位	計画数量等	実績数量等	実績割合%	備 考
1 米 穀					
(1)精 米	kg	1,183,200	1,340,400	113.3	自校炊飯 (内 胚芽米 397,090kg) (内 YES!clean米 238,570kg)
(2)米 飯	kg	2,265,950	2,270,491	100.2	委託炊飯 (内 YES!clean米 208,474kg)
2 小麦粉					
(1)小麦粉	kg	100,150	115,675	115.5	
(2)小麦粉製品					
小麦粉	kg	1,472,400	1,405,938	95.5	委託製パン 874,757 kg 委託製麺 531,181 kg
ビートグラニュー	kg	51,300	50,807	99.0	
ショートニング	kg	24,400	23,611	96.8	
脱脂粉乳	kg	26,000	24,508	94.3	
3 脱脂粉乳(調理用)	kg	900	1,125	125.0	
4 一般物資	千円	1,283,209	1,341,193	104.5	

② 学校給食用物資の安全性の確保

ア 学校給食用物資の衛生検査の実施

安全・安心な物資を提供するため、随時に自主検査を行った。

なお、今年度は、共同調理場からの検査依頼は無かった。

〈検査実績〉

検体数 213検体 (内訳 自主検査 213検体 依頼検査 0検体)

イ 加工委託工場への助成措置

パン・米飯・麺の加工委託工場の衛生管理の向上を図るため、施設の補修等衛生管理の改善に要する経費について、7工場に約2,025千円の助成を行った。

助成を行った工場からは「機械が更新され異物混入が減少した。また、製造効率も上がった。」

「品質が良くなった。」などの報告を受けた。

ウ パン品質審査会の実施

学校給食用パンの品質の向上を図るため、学校給食関係者の協力を得て、加工委託工場を対象に焼き上がりの状態、味、香等の品質審査会を2回開催した。

審査員からは「年々パンの品質が上がり、全体のレベルが上がっている。」などの評価をいただき、審査結果を踏まえた技術指導の対象となる加工委託工場はなかった。

審査結果は、当法人のホームページに掲載し、多くの学校給食関係者に周知した。

〈開催実績〉

・第1回全道学校給食用パン品質審査会 平成29年7月7日(金) 51工場

・第2回全道学校給食用パン品質審査会 平成30年3月2日(金) 50工場

エ 研修会の実施及び講師の派遣

衛生管理の徹底及び意識の向上を図るため、学校給食共同調理場の管理運営者を対象とした「学校給食共同調理場管理運営者研修会」を開催した。また、市町村等主催の衛生管理講習会に、当会専門職員を派遣し、指導・助言等を行った。

〈開催・派遣実績〉

- ・学校給食共同調理場管理運営者研修会の開催

平成29年5月19日（金）

釧路市 全道から35名参加

- ・衛生管理講習会への専門職員の派遣

2会場（幕別町百年記念ホール・苫小牧第2学校給食センター）

オ 加工委託工場への立入調査の実施

加工委託工場の衛生管理状況等を確認するため、全道76工場を対象に、当会専門職員等による実地調査を行った。

カ 加工委託工場衛生管理講習会の開催

HACCP 制度化（義務化）に向けた説明や、衛生管理及び異物混入防止の意識向上を図るため、市町村学校給食関係者、パン・米飯・麺加工委託工場等の製造担当者等を対象とした衛生管理講習会を、北海道パン・米飯協同組合、札幌アール・ビー・エム協同組合、札幌市学校給食麺協同組合との共催により実施した。

〈開催概要〉

- ・平成29年7月28日（金） 札幌市 ホテルロイトン札幌 全道から155名参加

- ・講師 北海道保健福祉部健康安全局 食品衛生課 食品安全グループ 主査

標津町地域 HACCP 推進委員会 総括事務局 標津町役場水産課 主幹

キ 検査機器の貸出し

学校等からの要請により、一般細菌、大腸菌群、黄色ブドウ球菌検査等のため「ふらん器」「ATP式拭き取り検査器」「手洗いチェッカー」「紫外線ランプ」等を学校及び共同調理場等に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

- ・ふらん器

7箇所（小学校3校 共同調理場4施設）

スタンプ型培地 50枚、手形培地 20枚提供

- ・ATP式拭き取り検査器

15箇所（共同調理場6施設 その他9）

検査用スティック 700本提供

- ・手洗いチェッカー

12箇所（共同調理場4施設 小学校3校 中学校1校

特別支援学校1校 その他3）

- ・紫外線ランプ

0箇所

2 評議員・役員及び職員数

(1) 評議員 9名

(2) 役員 7名 (理事長1名 常務理事1名 理事4名 監事1名)

(3) 職員 19名

○ 評議員・役員の就任状況 (平成30年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	現職	推せん団体等	備考
評議員	9名				
	穂積邦彦	27.6.25	恵庭市教育委員会教育長	北海道都市教育委員会連絡協議会	
	石田政充	27.6.25	美深町教育委員会教育長	北海道町村教育委員会連合会	
	角野誠	29.6.26	札幌市立幌南小学校長	北海道小学校長会	
	古谷雅幸	29.6.26	札幌市立中の島中学校長	北海道中学校長会	
	吉川紫乃	29.6.26	札幌市立平岡南小学校栄養教諭	北海道学校給食研究協議会 栄養部会	
	谷垣徳篤	29.6.26	北海道PTA連合会事務局次長	北海道PTA連合会	
	荒山睦子	29.6.26	札幌市PTA協議会副会長	札幌市PTA協議会	
	橋本智子	27.6.25	一般社団法人北海道消費者協会会長	一般社団法人北海道消費者協会	
吉澤正伸	27.6.25	北翔大学教授	北翔大学		
理事	6名				
	千葉俊文	28.6.20	公益財団法人北海道学校給食会理事長	理事会	
	佐藤淳司	29.9.22	公益財団法人北海道学校給食会常務理事	理事会	
	小島晶夫	28.6.20	北海道札幌西高等学校長	北海道高等学校長協会	
	木村宣孝	28.6.20	北海道札幌高等養護学校長	北海道特別支援学校長会	
	日下聡	29.6.26	美唄市学校給食センター長	北海道学校給食研究協議会 共同調理場部会	
監事	1名				
	小田雅視	27.6.25	小田雅視税理士事務所長	高野公認会計士事務所	